

公益財団法人十四世六平太記念財団 平成28年度普及事業
武蔵野大学文学部 日本文学研究所 土岐善磨記念公開講座特別公演

能

と土岐善磨

とさ

ぜんまろ

鶴を観る

平成29年 2月12日(日)

14:00開演 / 13:00開場

武蔵野大学 雪頂講堂

(武蔵野キャンパス6号館)

—— 入場無料 ——

Photo: シテ 佐々木多門 撮影: 石田 裕

のう と き ぜんまる つる み
能と土岐善麿 「鶴」を観る

歌人・国文学者、土岐善麿(1885-1980)は、武蔵野大学(旧武蔵野女子大学)文学部の初代主任教授として教壇に立つほか、能楽資料センターの設立に顧問として尽力しました。一方では喜多流の能を学びながら、十五世宗家喜多実との協働によって多くの能を作った新作能のパイオニアでもあります。武蔵野大学文学部創立50周年を記念して「実朝」を上演した前回に続き、今回は会場を喜多能楽堂から武蔵野大学雪頂講堂に移し、同じく喜多流のレパートリーとして上演が重ねられている土岐善麿作の能「鶴」を鑑賞し、講演や対談を合わせて、喜多流と武蔵野大学を結び付けた土岐善麿の業績をあらためてふりかえります。



プログラム

【講演・対談】

進行：岩城賢太郎(武蔵野大学文学部准教授)

◎ ごあいさつ

三田誠広(武蔵野大学文学部日本文学研究所所長)
落合貴代子(武蔵野大学同窓会むらさき会会長)
青木馨子(むらさき会日本文学文化学科支部長)

◎ 講演「土岐善麿の作詞した校歌一覧」

丹治麻里子(武蔵野大学卒業生)

◎ 対談「土岐善麿と新作能」

塩津哲生(能楽シテ方喜多流能楽師)
リチャード・エマート(武蔵野大学文学部特任教授)

【解説】

金子敬一郎(能楽シテ方喜多流能楽師)

【能「鶴」】

◎ 出演者

(シテ) 佐々木多門
(ツレ) 塩津圭介
(笛) 藤田貴寛
(小鼓) 森澤勇司
(大鼓) 原岡一之
(太鼓) 林雄一郎
(地謡) 長島茂、友枝雄人、内田成信、金子敬一郎
栗谷充雄、大島輝久、佐藤寛泰、佐藤陽
(後見) 塩津哲生、友枝真也

日時 平成29年2月12日(日) 14:00開演(13:00開場)

会場 武蔵野大学 雪頂講堂(武蔵野キャンパス6号館)

チケット 全席自由・無料

お申込み/お問合せ

● 喜多能楽堂

TEL 03-3491-8813(10:00~18:00)

ホームページ <http://kita-noh.com/>(要事前登録・無料)

※チケットは無料ですが、ご予約のチケットをコンビニでお受け取りの場合は別途発券手数料がかかります。

● 武蔵野大学文学部研究室(担当：岩城)

TEL/FAX 042-468-3229(月曜日~木曜日)

メール ken_iwa@stu.musashino-u.ac.jp

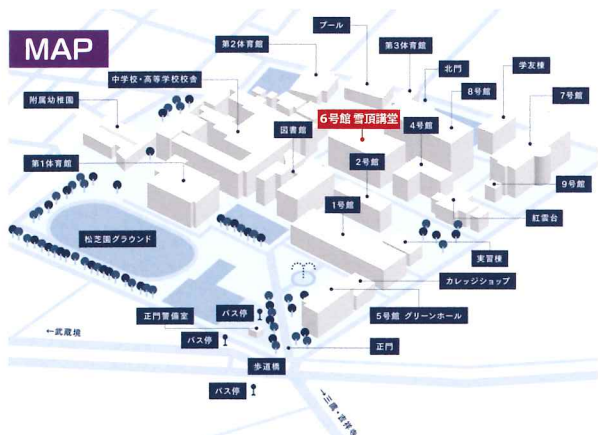
企画展示

公演当日2階ロビーにて、土岐善麿関連の貴重な資料の展示があります。

【企画展示】「土岐善麿 -文学に遊ぶ-」

土岐善麿は様々な顔を持ち、あえて「専門」を作らず「文学に遊んだ」人です。結社を作らず、自分の歌碑を望まなかった土岐善麿の業績は、歌人・国文学者・日比谷図書館長・国語審議会会長・新聞記者・新作能の創作・教育と、多岐に渡ります。

今回の展示では、校歌(約270曲)を中心とした土岐善麿の作詞について、またその他の活動についても紹介します。



会場 武蔵野大学 雪頂講堂
(武蔵野キャンパス6号館)

● 住所

〒202-0023 東京都西東京市新町1-1-20

● アクセス

- ・JR中央本線 三鷹駅よりバスで10分
- ・JR中央本線・京王井の頭線 吉祥寺駅よりバスで15分
- ・JR中央本線・西武多摩川線 武蔵境駅よりバスで7分